

第159期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

やさしさの先にある未来を見つめて

株主の皆様へ Top Message

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は2023年9月30日をもって

第159期上半期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)を終了いたしましたので、その概況についてご報告申し上げます。

取締役社長

高口 彰



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に引き下げられたことで行動制限の制約が解除され経済活動は正常化に向かっているものの、長期化の様相を呈している原燃料価格の高騰、円安に伴う物価の上昇、世界経済における収束の見えないウクライナ情勢や中国経済の下振れ懸念等の影響により、先行きは依然として不透明な状況が続くと見込まれます。

このような状況のもと、当社は引き続き各部門において2020年5月13日開催の取締役会で決議した事業再構築策の実行により収益改善に取り組んでおります。中国販売の不振や原燃料価格の高騰・円安に伴う物価の上昇等の長期化の影響を受け販売面・利益面ともに苦戦が続いておりましたが、持ち直しの動きが見られるようになってまいりました。

この結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高1,397百万円(前年同四半期比12.3%減)となり、営業損失140百万円(前年同四半期は営業利益26百万円)、経常損失9百万円(前年同四半期は経常利益211百万円)、事業撤退損1,025百万円の計上等もあり親会社株主に帰属する四半期純損失1,040百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失562百万円)となりました。

この先も共同開発・産学連携に積極的に取り組み、最終製品を見据えた機能を訴求していき、環境を守る企業としての地位を確立しつつ、安定的に収益を計上できる体制づくりに努めてまいります。

今後も株主の皆様方のご期待に沿えるよう、全社一丸となって邁進する所存でございますので、変わらぬご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

決算ハイライト

売上高

第159期(当第2四半期)

1,397百万円

第158期(前第2四半期)

1,593百万円

営業利益

第159期(当第2四半期)

△140百万円

第158期(前第2四半期)

26百万円

経常利益

第159期(当第2四半期)

△9百万円

第158期(前第2四半期)

211百万円

親会社株主に帰属する四半期純利益

第159期(当第2四半期)

△1,040百万円

第158期(前第2四半期)

△562百万円

セグメント別業績 & トピックス



繊維部門

部門別売上高比率

51.7%

前年同四半期比3.1% ↘



繊維部門につきましては、売上高722百万円(前年同四半期比17.3%減)、セグメント損失85百万円(前年同四半期は22百万円のセグメント損失)となりました。

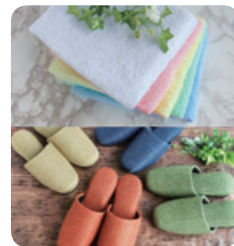
Topics

介護向けを中心に販路の拡大

コロナ禍からの市場の回復とともに業務用向けスリッパ、タオル、不織布製品の販売が好調に推移してきました。今後は介護向けを中心に新たな販路の拡大を図る予定であります。

新商品の開発は、環境に配慮した商品に注力していく予定であります。

今後は生産拠点を東南アジア各国に拡げ、売上、利益の拡大を図ってまいります。



不動産部門

部門別売上高比率

36.1%

前年同四半期比4.8% ↗



不動産部門につきましては、売上高504百万円(前年同四半期比1.1%増)、セグメント利益320百万円(前年同四半期比2.0%増)となりました。

Topics

加古川工場跡地 不動産開発事業が本格化

加古川工場は、60年有余に亘り、当社のレーヨン繊維製造を担ってきましたが、その役割を転換し、新たな不動産事業の中核となるべく、都市計画法に基づく大規模な開発事業を進めています。

2024年初冬の開発造成工事完了を目指すとともに、企業誘致活動を推進中であります。





食品部門

部門別売上高比率

3.9%

前年同四半期比0.9% ↓



食品部門につきましては、売上高54百万円(前年同四半期比28.9%減)、セグメント損失36百万円(前年同四半期は30百万円のセグメント損失)となりました。

Topics

「ダイエット&ビューティフェア2023」に出展

東京ビッグサイトで開催された「ダイエット&ビューティフェア2023」(2023年9月25日～27日)に出展し、「糖質0gぷるんちゃんシリーズ」の展示紹介及び、「OEMできます」を打ち出し、美容関連のバイヤー等に多数ご来場いただき大変好評を得ております。



その他部門

部門別売上高比率

8.3%

前年同四半期比0.8% ↓



その他部門につきましては、売上高116百万円(前年同四半期比19.5%減)、セグメント損失57百万円(前年同四半期は20百万円のセグメント損失)となりました。

Topics

システムインテグレーションで 社会に貢献する

ソリューション部門では製造業向け、医療機関向けITの分野で、顧客の要求するシステムを開発し、運用までサポートする業務を行っております。

製薬工場向け製造プラントの監視制御システムをはじめ、空調制御、冷凍倉庫向け監視システムなど幅広い業務を請け負っております。

また、医療機関向けに患者の待ち時間のストレスを軽減する「外来患者呼出システム」、再来受付・自動精算機の製造・販売も行っております。



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期連結会計期間末 (2023年9月30日現在)
(資産の部) 流動資産	1,674
固定資産	17,155
有形固定資産	16,988
無形固定資産	9
投資その他の資産	157
繰延資産	4
資産合計	18,833
(負債の部) 流動負債	3,869
固定負債	13,538
負債合計	17,407
(純資産の部) 株主資本	2,937
その他の包括利益累計額	△1,511
純資産合計	1,425
負債純資産合計	18,833

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間 (2023年4月1日から2023年9月30日まで)
売上高	1,397
売上原価	852
売上総利益	545
販売費及び一般管理費	686
営業損失	140
営業外収益	250
営業外費用	118
経常損失	9
特別損失	1,032
税金等調整前四半期純損失	1,041
法人税、住民税及び事業税	1
法人税等調整額	△2
四半期純損失	1,040
親会社株主に帰属する四半期純損失	1,040

会社の概況 (2023年9月30日現在)

設立	1917年(大正6年)8月13日
資本金	1億円
主要な事業内容	レーヨン糸・各種混紡糸、各種レーヨン綿、不織布の加工及び販売 各種タオル・生活用品等の製造・販売 食品の製造・加工及び販売 化粧品の製造及び販売、ソフト開発 不動産賃貸・販売、その他
従業員数	108名
主要な事務所	(本 社) 大阪市中央区南本町4-1-1 (東京事務所) 東京都中央区八丁堀2-21-11 (加古川工場) 兵庫県加古川市尾上町池田50
主要な子会社	オーミケンシソリューション株式会社(大阪府) 株式会社宇美フーズ(福岡県) 近絹(上海)商貿有限公司(中国) オーミ・ド・ブラジルテキスタイル株式会社(ブラジル) (注)オーミ・ド・ブラジルテキスタイル株式会社は2023年10月11日に解散決議をいたしました。

株式の状況 (2023年9月30日現在)

発行可能株式総数	普通株式	24,000,000株
	A種優先株式	11,000,000株
発行済株式の総数	普通株式	6,602,459株
	A種優先株式	2,000,000株
株 主 数	普通株式	4,566名
	A種優先株式	1名

大株主(上位10名)

株主名	持株数			持株比率
	普通株式	A種優先株式	合 計	
東 洋 商 事 株 式 会 社	572千株	2,000千株	2,572千株	29.92%
龍 寶 裕 子	654	—	654	7.60
丸 山 三 千 夫	336	—	336	3.91
株式会社三菱UFJ銀行	294	—	294	3.42
竹 甚 板 硝 子 株 式 会 社	200	—	200	2.32
太陽生命保険株式会社	200	—	200	2.32
楽 天 証 券 株 式 会 社	159	—	159	1.84
丸 山 光 子	66	—	66	0.77
龍 寶 惟 男	64	—	64	0.74
千歳コーポレーション株式会社	62	—	62	0.72

(注) 1. A種優先株式は、当社定款の定めにより議決権を有しておりません。
2. 持株比率は自己株式(5,309株)を控除して計算しております。

役員 (2023年9月30日現在)

代 表 取 締 役 会 長	石 原 美 秀
代 表 取 締 役 社 長	高 口 彰
取 締 役	大 野 泰 由
取 締 役	廣 田 直 人
常 勤 監 査 役	近 藤 武 彦
監 査 役	桑 野 哲 雄
監 査 役	竹 前 賢

(注) 1. 取締役廣田直人氏は社外取締役であります。
2. 監査役桑野哲雄、竹前賢の両氏は、社外監査役であります。
3. 取締役廣田直人、監査役桑野哲雄、竹前賢の3氏につきましては、東京証券取引所に対し、独立役員として届け出ております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	4月1日から3ヶ月以内
基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 その他必要のある場合はあらかじめ公告して定める日
公告方法	電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、大阪市において発行する朝日新聞に掲載いたします。 公告掲載アドレス (https://omikenshi.co.jp/ir/ir_notice/)

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 (同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 ☎ 0120-094-777(通話料無料)
----------------------------------	--

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取扱いいたします。

3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。